

セミナーのご案内

PrintDoors2026 第62回新春機材展において恒例の新春機材展特別セミナーを開催致します。
最近の厳しい情勢下での、今後の展望などを踏まえ各種ニーズにお応えする内容をご用意致しました。
皆様お誘い合わせの上、是非ご参加頂きますようご案内申し上げます。

A28

2026年1月28日(水)
13:00~14:15

「消える紙」と「残る紙」

～「実用性」から「意味性」へ／印刷業界の持つ付加価値の探求～



高本 隆彦 氏

【内 容】

かつて情報ツールとして隆盛を誇っていた印刷物は、デジタル技術の進展により衰退の一途を辿っています。

印刷の役割を再定義して、新たな市場を創出することが肝要と考えます。

自社の強みを改めて再定義し、未来の進むべき方向性を探しましょう。

本セミナーでは、「消える紙」と「残る紙」という二面性を切り口に、印刷の役割を再定義し、新たな市場を創出する可能性を探ります。さらに、自社の強みを改めて見直し、未来に向けて進むべき方向性を共に考えていきます。

【講 師】

大興印刷株式会社 代表取締役 高本 隆彦 氏

大阪府印刷工業組合 理事長

全日本印刷工業組合連合会 副会長

光文堂友の会
経営者セミナー

B29

2026年1月29日(木) 『AI時代に求められる印刷事業の再定義』

～印刷業界の変革期に企業が向き合うべき問い合わせ～



山元 陸 氏

【内 容】

印刷業界は今、AIの台頭／デジタル化の波でビジネスの再定義が求められる局面にあります。その変化を脅威と捉えるか、むしろ従来の枠組みを超えて新しい価値を生み出せる大きな機会と捉えるかが変革の分かれ道となります。

経営コンサルタントとして多様な企業課題に携わる中で感じるのは、多くの企業がAIを“効率化の延長線”として捉え、売上や価値創出の武器として活かし切れていないという現実です。まずAIが現場に根付かない背景には、スキルの問題だけでなく、組織文化、意思決定、制度といった構造的な要素が複雑に絡んでいます。

本セミナーでは、そうした実体験を踏まえながら「印刷業界において、なぜAIが浸透しづらいのか」、「再定義が求められる印刷ビジネスにおいて、これから企業が向き合うべき問い合わせは何か」について追求します。進化が止まらないAI時代に、印刷会社はどう戦っていくべきか。

印刷業界のAI活用事例を取り上げ、その問い合わせに向き合うためのヒントをお届けします。

【講 師】

株式会社データインサイト 取締役 COO 山元 陸 氏 Yamamoto Riku

新卒でIBMを経て、当社立上げ。IBMでは主にグローバルプロジェクトを担当し日系企業の国内外におけるデジタル変革を推進大型プロジェクトの構想策定から要件定義、UIUX・設計、開発、運用保守フェーズまで一気通貫のプロマネ経験が豊富。

現職では、日本企業のAI現場浸透の支援を中心に業種業態を問わない企業変革を推進AIをテーマにしたセミナー実績多数。

セミナーのお申し込み

PrintDoors2026 併設セミナー

- ★ 会 場 : 名古屋市国際展示場（ポートメッセなごや 会議ホール）
★ お申込方法 : 以下にご記入の上、担当営業か FAX052-331-4691 へお申ください。

希望セミナーへ☑チェックをお願いします。

●2026年 参加希望セミナー

- 【A28】1月28日(水)13:00～14:15 _____名
【B29】1月29日(木)11:00～12:15 _____名

参加者情報の記入をお願いします。

貴社名 : _____ 部署名 : _____

ご住所 : 〒_____

TEL : _____ FAX : _____

氏名 : _____ e-mail : _____

氏名 : _____ e-mail : _____

氏名 : _____ e-mail : _____

※お申込頂きました順に、受講票を発行させて頂きます。当日は受講票をご持参下さい。

また、席には限りがありますので、お申込多数の場合は先着順とさせて頂きます。



印刷機材の総合商社
株式会社 光文堂

〒460-0022 名古屋市中区金山2丁目15番18号 TEL052-331-4111
光文堂ホームページ <http://www.kobundo.co.jp>